



# しゃくなげ

令和2年  
4月特別号Ⅱ  
4月11日配信

～新型コロナウイルスの影響による休校に伴う連絡事項について～

シアトル日本語補習学校

本校の園児・児童・生徒の皆さん、保護者の皆様、お元気ですか。だんだんと晴れの日が多くなり、気温もしだいに暖かく感じられるようになってきました。せっかく気候がよくなってきたのにお散歩くらいしかできない状況が歯がゆいですね。

さて、今週4月6日ワシントン州知事から、今学年度いっぱい、州内公立・私立学校を休校にするという発表がありました。この発表を受け、本校もこれまでの年間行事計画を抜本的に見直し、9月始業の予定で計画を練り直しています。本年度は授業時数確保を優先するため、運動会やスポーツ大会などの学校行事を残念ながら割愛せざるを得ない状況となってきています。

今週お伝えしたいことを以下にまとめましたので、ご一読ください。また、ご質問やご要望等ございましたら、学校事務所メール [office@seajschool.org](mailto:office@seajschool.org) か、本校ホームページのお問い合わせフォームまでご連絡ください。

## 【教科書類の郵送について】

前号で教科書とワーク類の郵送は外出禁止令が解除され、事務局が再開後に準備となりますとお伝えしました。現時点では5月5日に外出禁止令が解かれる予定となっていますが、教材等が揃い次第、できるだけ速やかに郵送できるよう準備を進めております。

なお、教材等については国際郵便の遅滞により、一部未着のものがあります。

## 【授業料について】

保護者の皆様から学校が開校されていない間の授業料はについて、お問い合わせをいただいています。

現在授業料について、運営委員会と協議中です。決定しましたら、正式に通知をいたしますので、しばらくお待ちください。

## 【新担任からのメッセージ】

休校で本校園児・児童・生徒の皆さんと会うことができませんが、新しい学年の先生から学年の皆さんへ、担任氏名とメッセージをしゃくなげと一緒に送ります。

お子様にもお知らせください。

なお、4月中においては、学校についての問い合わせ等は担任ではなく、学校事務所に連絡ください。

## 【5月以降の休校中の学習支援について】

5月、6月の本校園児・児童・生徒への学習支援についても、お問い合わせいただいています。休校が長びくなか、保護者の皆様には大きな心配事だと思います。

現在本校では、どのようにして学習支援を行うかを検討し、実施に向けて進めております。5月からは、以下のかたちで始めたいと思っています。

1. 教科の担当は毎週土曜日に各家庭にメールで課題を送信する。
2. 次週金曜までに、お子様が課題に取り組み、ご家庭で確認・添削(中・高部は自己添削の場合もあります)し、教科担当に返信するというかたちで提出していただく。
3. 教科担任は提出された課題を見て実施状況や理解度を確認する。そして、次週の課題を示したメールを全家庭に送信する。

現在本校のICT環境の整備を進めています。4月からオンライン会議のシステムや教職員のクラウドデータの共有が始まり、その活用が進みつつあります。今後は、このICT環境の整備の進捗に応じて、本校園児・児童・生徒への学習支援への活用をより充実させていきたいと考えています。

## 【新入生の挨拶について】

昨年度、今年度の入学式において新入生の挨拶をするために、旧小学6年生、旧中学3年生の代表児童・生徒は挨拶の言葉を練り準備していました。ところが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で入学式が中止となり、せっかくの機会が失われてしまいました。

下に新中学1年生及び新高校1年生の挨拶を掲載いたします。

### 《新中学1年生》

長く雨の多い冬をこえ、桜が舞(ま)い散る春の今日、私たちは中学生になります。

今の僕は、中学で勉強することが不安です。今でさえ本を読む時につまってしまうのに、漢字と文章がさらに難しくなったらニュースの放送事故みたいになってしまいます。

しかし、そんなことくらいであきらめる僕ではありません。なぜなら一番がんばりたいことがあるからです。音読、漢字、それに作文をもっと良く出来るように中学でがんばろうと思います。そして、これまで関西人の母との宿題の言い争いに負けていましたが、これらの学習の成果を生かし母との争いに勝ちたいと思います。

また、中学ではみんなが楽しみにしているイベントがあります。それはバレーボール大会です。しかし、僕はプレイをした事がないので足手まといになるかもしれませんが、その時はどうかクラスの皆さんよろしく願いいたします。

私は、六年間通った小学校を卒業する時、両親に「中学には進学せず、自分の夢でもあるダンスに時間をそそいだら。」と言われました。でもその時に私が出した答えは、「どんなに勉強が大変でも、私は補習校を続けたい。」でした。その理由は、日本人として生まれて、私にとって、日本の文化と歴史が学べるシアトル日本語補習学校はとても大切な場所だからです。そして、幼稚園から七年間この学校に通い、かけがえのない友達がたくさんできました。今日一緒に中学生になった仲間と共にこれからも日本語の勉強を続けたいと思っています。

最後になりますが、校長先生、先生方、そして先輩方、どうぞよろしくお願い致します。私たち新入生はシアトル日本語補習学校の生徒としてのほこりを持ち、精いっぱいがんばりたいと思います。

新入生代表 河村一色・玉置桜雪

## 《新高校1年生》

暖かな春の光とともに桜の花が咲き誇る今日の良き日、私たちは本日無事に、高等学部入学の日を迎えることができました。校長先生をはじめ、先生方、並びに来賓の方々、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

今年はコロナウィルスの影響により3月と4月が休校になり卒業式も行うことができませんでした。クラスメイト達と壇上で卒業証書を受け取ることができず、とても残念です。

先日、私たちは、中学校を卒業しました。不安と期待の気持ちが混ざった今、これから始まる高校生活は長いようで短い三年間になると思います。つらい時や苦しい時もあるかもしれませんが、この貴重な時間を大切にすべく友人と共に協力しながら乗り越えていきたいです。

さて、みなさんに、私の好きな言葉についてお話ししたいと思います。「挑戦しつづけたい。より多くの武器を手にするために。」私はこの言葉を胸に挑戦するというのを忘れないように心がけています。私たちには日本語と英語を話すバイリンガルという武器があります。補習校と現地校の学業、クラブ活動などでも新しいことに挑戦するという姿勢をいつも忘れてはいけません。その上、高校に通い日本語という武器を磨きながら、たくさんの方に挑戦し、また新しいことを身に付けていきたいです。

高等学部に通いながら、さらに日本語に磨きをかけ、日々を価値あるものにしていきたいと思います。高等学部になると同時に補習校も現地校の勉強も難しくなると思いますが、わからないことや苦手なことを放っておかずに学習環境を整えていきたいです。

将来は、高校生活で手のした武器をアメリカと日本をはじめこれからの社会で生かせるように努力することを誓います。

令和二年四月十一日  
高等部一年 野田ありさ